

## ① 制度の概要

東京を訪れる高齢者・障害者等の観光客やビジネス客、赤ちゃん連れの方など、誰もが円滑かつ安全・安心に過ごせる環境を整備するため、都内宿泊施設のバリアフリー化を推進する補助制度です。施設整備から客室改修、備品購入まで幅広く支援し、訪日外国人や高齢化社会に対応した宿泊環境の実現を目指しています。

延床面積によって補助率が異なり、1,000m<sup>2</sup>未満の施設は最大4/5、客室整備では最大9/10という高い補助率を実現。コンサルティングから実施設計まで一貫した支援により、バリアフリー化を計画的に進めることができます。

## ② 支援内容

## □ 施設整備

敷地内通路、出入口、廊下、階段、傾斜路、エレベーター、便所、浴室、駐車場、標示・誘導等の整備

最大6,000万円

補助率：4/5～2/3

## □ 客室整備

一般客室または車椅子使用者用客室のバリアフリー化整備。客室出入口有効幅90cm以上で最高補助率

最大9,600万円

補助率：9/10～2/3

## □ 備品購入

改修工事を伴わない備品購入（既にバリアフリー化済の施設も申請可能）

最大320万円

補助率：4/5～2/3

## ③ 対象となる取組

## 【施設・設備整備】

- 敷地内通路・出入口・廊下・階段・傾斜路
- エレベーター・昇降機・便所・浴室
- 駐車場・標示誘導設備・洗面所等

## 【客室整備】

- 一般客室（15m<sup>2</sup>未満・15m<sup>2</sup>以上）
- 車椅子使用者用客室（出入口90cm以上）

## ④ 対象者

- 東京都内で旅館業法の許可を受けている施設運営者（会社・個人事業者）
- 「旅館・ホテル営業」または「簡易宿所営業」を行っている事業者

## ⑤ 採択率向上のポイント

- 整備基準の事前確認：「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」の審査基準を事前に精査し、基準を満たす計画を立案することが必須です
- 複数整備による加算活用：2種類以上の施設整備を行うことで補助上限額が2倍になります。戦略的な組み合わせが重要です
- 客室数の最適化：6室以上のバリアフリー化で補助上限額が倍増。段階的整備より一括整備が有利です
- 無料アドバイザー派遣の活用：東京都の無料アドバイザー派遣制度を活用し、専門家の助言を受けてから申請することで採択率が向上します

## ⑥ 戰略的分析

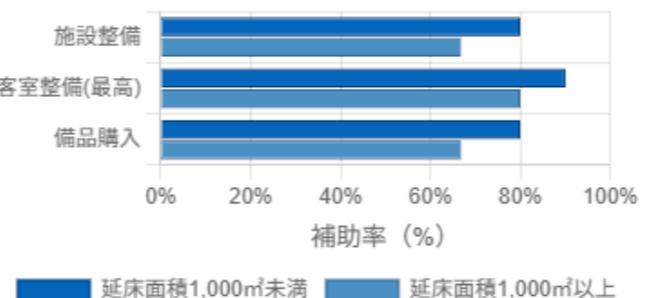
## 【補助率の戦略的活用】

- 延床面積1,000m<sup>2</sup>未満の小規模施設が圧倒的に有利で、施設整備4/5、客室整備最大9/10という高補助率を実現
- 車椅子使用者用客室で出入口有効幅90cm以上とすることで補助率9/10が適用され、実質負担を最小化
- 1,000m<sup>2</sup>以上の大規模施設でも、2種類以上の整備組み合わせで最大5,000万円の支援を獲得可能

## 【段階的整備より一括整備戦略】

- 客室6室以上の一括整備で補助上限額が最大9,600万円に倍増。分割申請より経済的メリットが大きい
- 施設整備と客室整備を同時申請することで、実施設計費も補助対象となり総合的なコスト削減が可能
- 予算到達による受付終了リスクがあるため、早期申請が極めて重要です

## ⑦ 補助率比較（延床面積別）



**小規模施設の優位性：**延床面積1,000m<sup>2</sup>未満の施設は、全ての項目で高補助率が適用され、特に客室整備では最大9/10（90%）の支援を受けられます。

**最高補助率の条件：**車椅子使用者用客室で出入口有効幅90cm以上とすることで、小規模施設9/10、大規模施設4/5の最高補助率を実現できます。

## ⑧ 整備箇所と実施例

整備箇所	具体的な実施内容
出入口・廊下	段差解消、自動ドア設置、有効幅員確保
エレベーター	車椅子対応エレベーター設置、音声案内
便所・浴室	車椅子対応トイレ、手すり設置、洗い場拡張
客室	出入口拡幅、可動間仕切り、緊急呼出装置
駐車場・標示	車椅子使用者用駐車区画、触知案内図

## ⑨ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
交付申請書 (第1号様式)	<input type="checkbox"/> 法人番号・旅館業許可番号の正確な記載 <input type="checkbox"/> 代表者印の押印確認
補助事業計画書 (別紙1-1/1-2)	<input type="checkbox"/> 延床面積に応じた様式を選択 <input type="checkbox"/> コンサルティング用は別様式 <input type="checkbox"/> 整備箇所の詳細な図面添付
誓約書・同意書 (第2・3号様式)	<input type="checkbox"/> 暝団排除条項の確認 <input type="checkbox"/> 情報公開への同意
添付資料	<input type="checkbox"/> 旅館業営業許可証の写し <input type="checkbox"/> 登記事項証明書（3ヶ月以内） <input type="checkbox"/> 見積書・工事計画書 <input type="checkbox"/> 施設の平面図・現況写真

\*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/11/19作成】

## ⑩ 申請スケジュール

## ● 事前準備期間

GビズIDプライム取得に1～2週間必要。電子申請を希望する場合は早期取得が必須。無料アドバイザー派遣制度を活用し、整備計画を専門家と事前調整することを強く推奨。

## ● 公募期間

2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

郵送は当日消印有効、J Grantsは17時締切

※予算額到達時点で受付終了。改修工事を伴う場合は工期を考慮し早期申請が重要

## ● 審査期間

申請が重なると通常より確認に時間がかかる場合あり。余裕を持った申請スケジュールを推奨

## ● 交付決定・事業実施

交付決定後に事業開始。交付決定前の着工は補助対象外となるため注意

## ● 実績報告・精算

事業完了後30日以内または2026年3月31日のいずれか早い日までに実績報告書を提出

## ⑪ 問い合わせ

制度詳細 <https://www.tcvc.or.jp/jp/project/infra/yado-barrier-free/>

申請システム（J Grants） <https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ20000CDKsNMAX>

事業全般 東京都産業労働局観光部受入環境課  
TEL：03-5320-4802

申請方法等 （公財）東京観光財団観光産業振興部観光インフラ整備課

TEL：03-5579-8463

受付：月～金曜日（祝日・12/29～1/3を除く）9:00～17:00

〒163-0915 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス15階

※来所相談は事前連絡必須